

教育委員会だより

小学校や中学校で、子ども達と関わっていると、「あれ? 急にこんなことができるようになつていてる」と驚くことがあります。例えば、K-popアイドル（韓国のアイドル）にはまったくことなく、一人で公共交通機関で移動することに抵抗のあった子どもが、「バス通学にすれば親に送迎の手間をかけなくていいかも」と思い立ち、一人でバスで往復できるようになるなどです。他にも例を挙げればきりがありませんが、結果としてできるようになる背景には、思いつきやきっかけと、「できるようになりたい」と意識したり、目的の本質を理解して行動する努力のプロセスがあります。趣味・スポーツ・学業・仕事・生活のことなど、様々なことにおいて、このことは言えることです。数年前に軽井沢に勤めてい



成長のきっかけ

スクールサポーター
(臨床心理士・公認心理師)
小林 真理

S先生は30代前半の熱意溢れる先生でしたが、一度「こう!」と思い込むと、なかなか周囲や先輩の先生方の声が入りにくいタイプの方でした。「子どもにも保護者にも信頼される先生になりたい」と頑張っていましたが、ある指導案件をきっかけに気持ちが沈んでしまい、お休みがちになってしましました。私はS先生が復帰する過程で関わっていました。S先生が復帰する過程で関わりがあったのですが、そこで語られたのは、ご自身の教師という専門職においての基本的知識や経験の足りなさ、周りの先生方と十分に繋がれていた。こういった内容についても、主観的な捉えと、客観的に見ながら職務に向き合っていました。

成長のきっかけは周囲からはわかりにくいくこともあります。振り返りや気づいたことを糧に、よりよい自分を目指していくといいますね。



過去の「こ・こ・う・ら・ぼ」は
ご覧になれます。

ウィスラー生徒交流事業を実施しました!

ウィスラー生徒受入事業を10月23日から29日にかけて実施しました。

ウィスラー生徒10名が軽井沢町を訪れ、3月にウィスラーへ派遣した町内の中学生の家庭へホームステイしました。

茶道や筝、坐禅やカーリングといった体験や、善光寺の見学等を行い、日本の文化・芸術や歴史に触れるとともに、生徒同士の交流を深めました。



また、10月27日にはウィスラー生徒10名が町長を表敬訪問しました。

ウィスラー生徒は思い思いに町長へ質問等を行い、軽井沢町への理解を深めました。